



第19回 日本核医学会春季大会

特別講演会3(ランチョンセミナー)

講演 1 中村 壮一様(日本放射性医薬品協会)

医療用放射性同位元素の国際的供給体制

医薬品原料として使用される放射性核種は、物理的半減期による減衰を伴う中、医療機関で必要とされる製品を製造するために十分な量が、許容される品質かつ一定の製造コスト内で、安定して確保できることが求められる。特に、モリブデン-99など原子炉にて製造される原子炉核種の確保は全て海外からの輸入で賄われており、原料の調達が生産品の安定供給確保に大きな割合を占めている。今回の講演では、本邦で販売されている放射性医薬品と医薬品原料として利用される放射性核種の供給に関わる内容を中心に講話をする。

講演 2 大井 賢一様(特別非営利活動法人がんサポートコミュニティー)

共通の敵“がん”とどう向き合うか?—新・核医学への期待—

国民が期待しているのはがんを的確に捉え、最適で効果的な治療を個別に提供する医療である。核医学にはこうした個別化医療への可能性が秘められており、その期待も大きい。人類共通の敵は“がん”との患者支援者、医療者や研究者の共通認識から核医学診療推進国民会議は核医学診療の推進に向けて取り組んでいる。2019年3月11日に未承認放射性医薬品を承認済医薬品同様に医療法の規制対象とするとした医療法施行規則改正の厚生労働省令が公布された。新たなステージでの核医学への期待を市民の立場から論じる。

日時 2019年4月28日(日) 12:00~13:00

会場 会場(虎ノ門ヒルズフォーラム 5F)
第3会場「ホールA-1」

司会 西山 佳宏先生(香川大学医学部放射線医学講座)

開会の挨拶 畑澤 順先生(日本核医学会理事長/大阪大学核物理研究センター)

受付/特別講演会3は整理券を配布します。

会場入口にて整理券と引き換えにお弁当をお受け取りください。

【配布場所】:会場 虎ノ門ヒルズフォーラム5階 参加受付付近カウンター

【配布時間】:4月28日(日)8:30~11:30

※整理券は配布時間内であってもなくなり次第、配布終了となります。

※整理券は特別講演会3開始と同時に無効となりますので、開始時刻までに会場へお越しください。